



## 令和3年度 くらら利用者協議会全体会議【書面議決】のお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、

今年度も利用者協議会全体会議は書面議決とさせていただきます。

5月下旬に資料を送付いたしますので内容をご確認いただき、

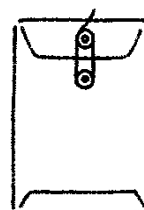
6月20日までにご返信くださいますようお願いいたします。

集計結果につきましては、情報紙7月号およびくららのホームページでご報告いたします。

なお、例年は全体会議終了後に交流会を行っていましたが、

今年度は7月中に小規模な集いとオンラインを併用して交流会を実施したいと考えています。

全体会議の資料とともにご案内を同封いたしますので、そちらも併せてご確認ください。



## くらら スタッフの アイコン

### 新企画 キニナル栃木人に会ってみた

湊町エピスリー店主の増山やよいさんへインタビューしました。

裏表紙に掲載しています。





## 助成金のお知らせ



新型コロナウイルス感染症の影響を受けている団体を支援する助成金情報です。

とちぎコミュニティ基金

### ひとりにしない、させない助成

休眠預金の活用により様々な困難を抱える人たちの支援と、誰もが住みやすいまちを作る活動を応援します。

対象事業：公益的な事業で、感染症拡大に伴う影響を受け、事業の推進にあたり支援を

必要としている団体やポストコロナを見据えた新たなチャレンジに対して助成します。

助成額：50万円~500万円（助成総額2,900万円） 対象団体：法人格の有無や法人の種類は問わない

対象期間：令和4年2月28日（月）まで 応募締切：令和3年5月14日（金）12:00まで

応募・問合せ：とちぎコミュニティ基金 メール info@tochicomi.org または「とちコミ」で検索

栃木県共同募金会

### 新型コロナウイルス感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

○支える助成

感染症の影響が出てしまった日々の暮らしのサポートを行うことにより、生活基盤を整えたり、

今後考えられる課題を今できる活動により防止すること

対象事業：衣食住に関わることや相談事業などの“今”の暮らしをつないでいくことを支えるための活動

助成額：1万円~10万円(助成予定件数15件) 対象団体：法人格の有無は問わない

対象期間：令和3年8月31日(火)まで 応募締切：令和3年5月21日(金)まで

○つなげる助成

感染症の影響により人と人との接触の機会が減られる中で、途切れてしまったつながりを再生させたり、

新たなつながりを生み出すことについて、多くの団体が連携し、将来への展望をもって取り組んでいくこと

対象事業：多くの団体が連携して行う、将来への展望をもって人と人をつないでいく活動

助成額：100万円(助成予定件数2件) 対象団体：法人格の有無は問わない

対象期間：令和3年12月31日(金)まで 応募締切：令和3年6月10日(木)まで

応募・問合せ：栃木県共同募金会(担当 粕谷) TEL 028-622-6694 FAX 028-625-9643

E-mail kyoubu@akaihane-tochigi.or.jp

## 登録更新について

次の登録番号の団体は、登録更新が必要です。まだの方はお早目にお問い合わせいたします。

0001~0216 0313~0335 0371~0396 0427~0454 0474~0509 0530~0550 0572~0588

・3月にお送りした登録申請書等の書類に必要な事項を記入の上、くららにお持ちいただくか、郵送、メール、FAXのいずれかで提出してください。

メールの場合、くらのホームページから登録申請書をダウンロードしてお使いください。

・ロッカー(1500円/年)とメールボックス(無料)をお使いの団体は、お早めに更新してください。

ロッカー代は、くらの窓口で直接お支払いください。



## 登録団体からのお知らせ



とちぎの障がい福祉を明るくする実行委員会

### 障がい者福祉を変える講演会『障がい福祉と支援とは』

会場設営ボランティア募集中

制度が変わっていく中、利用者に対する支援は誰のための支援？支援の本来の意味ってなんだろう？

日時：令和3年10月31日（日）13:00~15:00（12:50開場）

会場：わかくさアリーナ 栃木県宇都宮市若草 1-10-6

プログラム：13:00 ミニスポーツ開催 みんなで遊ぼう

13:30 開会

第1部 菊池月香氏による講演『障がい福祉と支援とは』

第2部 まとめ・意見交換会

15:00 閉会

〈会場設営ボランティア〉

集合：9:00（17:00終了予定）

作業内容：シートと椅子の準備・後片付け

謝礼：弁当と飲み物

募集人数：5人

問合せ：とちぎの障がい福祉を明るくする実行委員会

メール kappal@cc9.ne.jp

事前打ち合わせ

9月14日（火）17:00~18:30

会場：わかくさアリーナ

認定NPO法人チャイルドラインとちぎ

### 公開講演会『ネット依存から子どもを救え』

～ネットにはまる子どもたちに家庭でできる予防と対策～

2002年、「angels-eyes(エンジェルズアイズ)」を立ち上げ、未成年のネット依存に関する多くの相談を

受ける遠藤氏。ネットに「はまる」子どもの気持ち、親の関わり方について一緒に考えてみませんか。

日時：令和3年5月30日（日）14:00~16:00(13:30開場)

会場：とちぎ健康の森 大会議室(宇都宮市駒生 3337-1)

参加費：無料

講師：遠藤美季 氏 (情報教育アドバイザー)

定員：100名

申込み：認定NPO法人チャイルドラインとちぎ

FAX 028-614-3253 E-mail info@c1tochigi.org

主催：認定NPO法人チャイルドラインとちぎ

# キニナル栃木人に会ってみた Vol.1



湊町エピスリー  
店主

ましま  
増山 やよい さん

栃木市湊町にある  
「おいしい調味料と暮らしの色々」を  
コンセプトに食料品と雑貨を販売する  
セレクトショップのオーナー

キーワード「オーガニック」  
化学肥料や農薬を使わずに、環境に配慮した  
農法でつくられた食品。

20代の頃フランスに行き、日本に帰国後2019年6月に栃木市で起業した増山さん。  
日本だとオーガニックを扱う店が少ないと感じ、店をはじめるとオーガニックを扱いたいと思  
っていたそう。オーガニック食品を選ぶようになったのは「環境にやさしく、働く人(生産者)にも買  
う人(消費者)にもやさしいものを選びたい」という思いから。  
ヨーロッパだと野菜でも量り売りなどが主流。野菜を自分で量ってプライスカードを貼って買い物  
をするのが当たり前だったりする。店でも玄米の量り売りを取り入れたりしている。  
紙袋リユースも環境に配慮した取り組みの1つ。

「お客さんが使わない紙袋を持ってきてくれる。エコバックを持ってきてくれる人も増えた。」と  
話す。ただリユースといってもつまらない。紙袋にも一工夫してかわいいと喜んでもらえるように  
と「再利用してくれてありがとう」とフランス語で書いてあるタグを紙袋につけている。

店には買い物客に限らず、デザイン・建築の仕事をしている方  
や店のオーナーなどさまざまな職業の方がよく集まる。  
「栃木市の社交場になればいい」という思いがある。

湊町エピスリー

〒328-0045 栃木県栃木市湊町 7-3 TEL 0282-80-9159

定休日：月曜日 営業時間：火~木 13:00~ 金~日・祝 10:00~

営業時間の詳細はInstagramをチェック。

Instagram：minatocho\_epicerie



## とちぎ市民活動推進センターくらはとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、  
さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。



開館時間 月~土 10:00~21:00 日・祝 10:00~17:00

休館日 水曜日・年末年始

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町 6-8 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館内

TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132

E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp

ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>



## 編集後記

※くらはは、NPO 法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています。

今月号から編集後記が復活しました。どうか読んでやってください。くらは情報紙もあと3回で200号になります。情報紙のバックナンバーを読んでいるとくらはレポートという企画があって地域に飛び出して取材していたようです。今月号からの新企画はどうでしたか。感想お待ちしております。(大塚)